

トークライブ「沼津で起業して想ったこと」

日時：平成30年2月10日（土）18:00～20:00

場所：テレビのイマイ2階（大手町4-6-2）

<開催の概要>

Uターン起業家で器と雑貨のお店「hal（ハル）」の後藤由紀子さんと、かつて沼津に拠点を置き東京・名古屋にも店舗を構える雑貨のデザイン・販売会社「Floyd（フロイド）」の藤沼祐介さんをお招きして、沼津で起業してみて感じたことを語っていただきました。



40歳になり、子育てを卒業してから飲食店をオープンしたいと考えていた後藤さん。ご自身の入院を機に、明日はどうなるか分からない、やりたいことにはすぐに取り掛からなければと起業を決意したそうです。飲食店ではなく、雑貨屋として起業したのは、子どもの体調不良による急な閉店時に飲食店では食材を腐らせてしまうと考えたからだそうです。表参道の

雑貨屋での勤務経験もある後藤さんからは、「東京では何もしなくてもお客様がいるが、地方はお客様の人数は少ない。偏った品揃えで、少数派のお客様を大切に、15年商いをしてきたが、デートで来店したカップルが結婚し、お子様が小学生になった今でも付き合いが続いている」と地方での起業の魅力を語っていただきました。

沼津市内で直営店を経営した経験を持つ藤沼さんからは、沼津の物件は鉄筋コンクリート構造が多く、自分らしいお店をDIYしやすいという魅力や、東京よりロコミで広がりやすいといった特徴を語っていただきました。また「何を届けたいか、伝えたいかが重要で、そこが付加価値になる」といったポイントや地方発だから注目してもらえたというご自身の経験も教えていただきました。

60人を超える方が参加され、先輩起業家からの話に熱心に耳を傾けていました。

